

偕楽園の歴史を継承していくために…

偕楽園「左近の桜」の復活を目指す 寄附金の募集開始について

茨 城 県

令和3年10月26日

偕楽園「左近の桜」の復活を目指して①

昭和38年に植樹され、偕楽園で長年にわたり県民の皆様に親しまれてきた「左近の桜」は、令和元年9月9日台風15号により、倒木してしまいました。



倒木前（樹齢63年、幹高16m）



倒木後

偕楽園「左近の桜」の復活を目指して②

■ 2021年(令和3年)、左近の桜の復活を望む

多くの声などを受け、県は、宮内庁から京都御所
左近の桜の後継苗木をいただきました。



(左近の桜について)

- ・1831年、水戸藩9代藩主徳川齊昭の正室、登美宮吉子(貞芳院)は、水戸家に御降嫁の際、京都御所紫宸殿「左近の桜」の苗木を仁孝天皇より賜りました。
とみのみや よしこ
ししんでん にんこう
- ・京都御所の「左近の桜」は、平安時代から植え継がれている伝統あるヤマザクラです。
- ・倒木した偕楽園の「左近の桜」は、1963年(昭和38年)に、県が宮内庁からいただいた苗木を偕楽園見晴広場に植樹したものです。

寄附金募集

～「左近の桜」を復活させましょう～

「左近の桜」の復活にむけて、新型コロナウイルス感染症からの復興のシンボルとなるよう皆様からご寄附をいただき、偕(とも)に「左近の桜」の成長を見守りながら偕楽園の歴史を継承していきませんか。

- 寄附金募集開始日
令和3年11月1日(月)
- 寄附金の活用事業
 - 左近の桜の復活に係る植樹環境の整備、育成管理等
 - 好文亭からの景観改善のための樹形、樹高の管理等

(参考) 再植場所：元の位置(見晴広場)
再植時期：令和4年秋以降(予定)

- 寄附金の受入方法について
 - (1) 個人からの寄附
「いばらき応援寄附金」(ふるさと納税)
 - (2) 団体・企業からの寄附
寄附金申込書による申込み(郵送・FAX等)

※100万円以上の寄附者(先着20人)には、倒木した左近の桜で製作した感謝状を贈呈



感謝状イメージ